令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

健康子ども部スポーツ課

健康子ども部長 笠井 厚伸

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
22-001	社会体育振興事業	なし	D	半田市体育協会と連携した体育大会及び各施設で実施する教室を例年どおり開催することができた。また、総合型地域スポーツクラブが実施するスポーツ教室やスポーツ推進委員を中心としたニュースポーツ教室を開催した。しかし、はんだスポーツの日に開催するはんだシティマラソンについては、天候不良のため参加者が減少した。継続的に集客・参加者を募ることができるスポーツイベントが必要である。	改善 推進	半田市体育協会や総合型地域スポーツクラブ、そして半田市スポーツ推進委員連絡協議会と協力し、少しでも多くの人にスポーツに触れる機会を作る。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けての聖火リレー及び合宿地の誘致やホストタウン交流をきっかけにスポーツ人口の増加、成人市民のスポーツ実施率の回復に努めていく。
22-002	学校体育施設開放事業	なし	D	半田中学校及び亀崎中学校の部活動が、総合型地域スポーツクラブの非会員となり、これまでスポーツクラブの会員として使用していた一部の小学校体育館・運動場をスポーツクラブとして使用しなくなったため稼働率が減少した。	改善 推進	総合型地域スポーツクラブと連携し、施設の開放状況を公開するなど、新規会員の獲得を目指す。また、2団体以上で使用する日を調整するなど利用状況を見直す必要もある。さらに、老朽化している学校体育施設の備品の修繕を迅速に行い、引き続き、利用者が安心してスポーツができる環境の整備に努めていく。
22-003	総合型地域スポーツクラブハウス管理事業	なし	C	指定管理者であるソシオ成岩スポーツクラブの独自事業により、会員数は増加したが、猛暑や台風の影響による施設の破損で利用者数はほぼ横ばいとなった。施設竣工から約15年経過し、経年劣化による建物の維持管理や備品の修繕に費用を要する。また、ソシオ成岩スポーツクラブが行う独自事業について、施設の利用基準などを検討する必要がある。	改善 推進	総合型地域スポーツクラブハウスを拠点とした各種事業を充実し、会員及び会員外(ビジター)の増加を図る。ソシオ成岩スポーツクラブと連携して計画的な施設の修繕、備品の更新を行い、利用者が安全・快適に利用できるような環境を整える。併せてソシオ成岩スポーツクラブの施設利用方法を協議し適正な指定管理料を設定する。
22-007	福祉ふれあいプール管理運営事業	あり	D	施設利用者数の目標値を達成できなかった。平成29～30年度の改修中に25mプール、ウォータースライダー等の主要プール施設が長期間にわたり利用制限されたことが一因として考えられる。水泳教室、アクアビクス教室、シェイプアップ教室等新しく利用者を増やす自主事業の開催やプール槽の改修工事を実施し、サービスの充実と安全・快適に施設を利用できる環境を整備した。	改善 推進	新規の利用者の獲得、市民ニーズの反映や施設の有効活用を図るため、指定管理者との担当者会議を行うと共に、各種教室、クリスマス企画、幼児プール体験等のイベントを更に充実させ、利用者の増加に努める。また、施設の老朽化による修繕を計画的に実施する。
22-016	青山記念武道館管理運営事業	なし	D	施設利用者数の目標値を達成することができなかった。高齢少子化により利用する団体や生徒も減少しており、施設を使用する機会が減少していることが一因として挙げられる。利用者、施設管理者、市担当者で構成する有識者会議を実施し、利用者の意見を反映した運営ができた。自主事業は計画通り実施された。	改善 推進	有識者会議の内容や利用者アンケートを活用し、より収益性や集客性の高い運営を実施し、市民ニーズの反映や施設の有効活用に務める。また、引き続き夏休み中の月曜、第3月曜の開館、各種自主事業を実施、サービスの向上を図り、新規利用者の増加に努める。

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
22-018	半田運動公園改修 事業	あり	B	公園施設長寿命化計画(平成24年～平成33年)に基づき、国の交付金を活用して安全かつ快適に公園が利用できるよう整備を行っており、平成30年度については、計画通りデイキャンプ場の遊具取替、多目的グラウンドベンチ取替を行い目標を達成できた。運動公園内にはたくさんの施設及び遊具が設置されているが、老朽化が進んでいるため、計画的かつ継続的な修繕を実施していく必要がある。平成29年度分から成果指標を対象ベースを長寿命化計画から3ヶ年実施計画に変更したため、一次的に実績値、目標値ともに減少した。	改善 推進	利用者の安全性と利便性を確保するため、公園施設長寿命化計画に基づき、平成31年度については、デイキャンプ場の遊具取替えを行う。半田病院建設候補地が運動公園敷地内から移動したため、今後も運動公園内の施設の整備を図る。また、令和3年4月に実施される陸上競技場の3種の認定に向け、競技場の整備を行う必要がある。
22-019	体育施設天井等改 修事業	なし	A	平成29年度に天井改修工事を開始した3施設において、半田市体育館、青山記念武道館は、平成29年度に完了したが、半田福祉ふれあいプールは、夏季繁忙期の工事を避けるため、工事期間を平成29年9月から平成30年4月までとし、計画どおりに完了することができた。	終了	天井改修事業が計画通り完了し、安心安全な施設として利用することができる。今後も利用者が安全に使用できるように努める。
課等長	1次評価(30年度の総括評価)					
C	平成30年度は、気候や自然災害によりスポーツをするにあたり大きな影響を受けた1年であった。記録的な猛暑による、「学校開放のプール」、「ヨット教室」の中止。また、降雨日も多く、ナイター利用者の減少、9月には台風の影響による成岩スポーツクラブハウス屋上のアリーナの手摺が崩壊し、緊急修繕を要した。新規事業として、2020年東京オリンピック・パラリンピックの参加国と交流する「ホストタウン事業」を取り組み、中国江蘇省徐州市から武術、バスケットボール、水泳のコーチを招き、小中学生は熱心な指導を受け、技量の向上と交流を深めることができた。					
部等長	2次評価(30年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
C	スポーツを・する・観る・楽しむことは、健全な精神や身体を育み、こころ豊かな生活を送ることができる。2019年にはラグビーワールドカップ、2020年には東京オリンピック・パラリンピック、2026年にはアジア競技大会など世界規模の大会が決定している。スポーツの楽しさを知ってもらうこの機会を捉え、はんだシティマラソン、ホストタウン事業、アイアンマン、オリンピック事前合宿誘致など、市民に積極的に参加してもらえよう、事業周知や拡大・拡充に向けて一層努力すること。					